

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1172
施設名	アウル宮前保育園
施設所在地	杉並区宮前2-11-11
法人名	社会福祉法人天寿園会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近にある木々の季節の移り変わりへの気づき

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

保育園には園庭があり毎日遊んでいます。近くの公園へ行く機会もあり、その中で見る自然や木々の四季の変化に興味を示す子ども達が、この自然をテーマに設定する事により園庭や公園ばかりでなく普段見ている自然に目を向ける事、更に木々の葉っぱの色の变化、落葉、実をつける事などを子ども達自身が発見し、集中力、注意力、観察力など、更になぜ?という疑問をもち、次への好奇心、探求心を期待しながら子ども達と一緒に活動したいと思い設定しました。

2. 活動スケジュール

- ・9月～1月 近隣公園の木々、葉っぱの色など、環境の変化への観察、気づき
- ・9月 落ちていた葉っぱを集めて色や形の違いの観察
- ・11月 落ち葉を使用した製作や遊び
- ・11月～12月 紅葉の葉が赤く色づいている事から色の变化に興味を持ち、色が変化する理由を絵本や図鑑、パソコン、i P a d、電子ボードで調べてみる。
- ・3月 これまでに観察してきた内容をまとめて、一覧にする事で変化が更にわかるようにする。→電子ボードを使用し、作成した内容を保護者に共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・図鑑
- ・電子ボード
- ・チャイルドブック
- ・パソコン
- ・絵本
- ・i P a d
- ・戸外活動の中で自然や木々に目を向けて観察し、気づきや疑問を引き出す
- ・考えた事や感じた事を発表したり互いに伝え合う時間の設定

4. 探究活動の実践

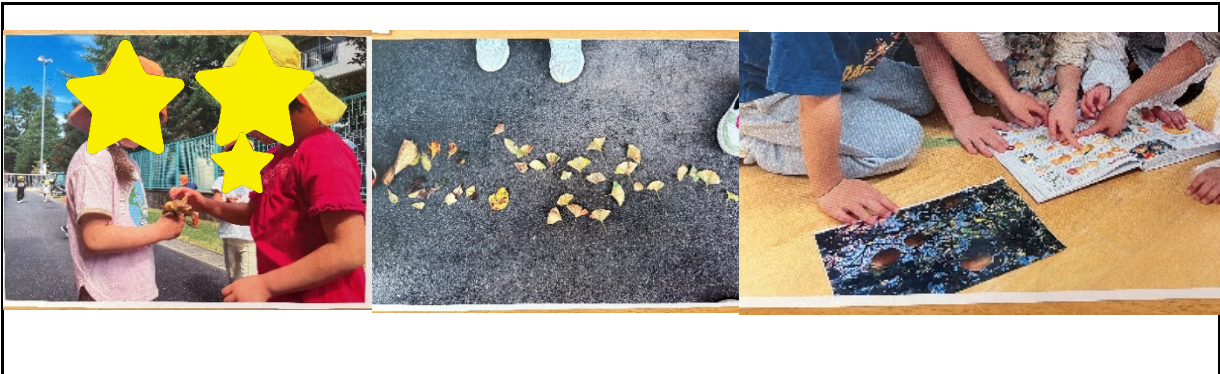
<活動の内容>

- ・国語教室の時間に花の名前など自然に関するフラッシュカードを行い、自然に対する興味関心を広げる。
- ・戸外活動で各自の図鑑を持参し、図鑑を見ながら公園の木々や花、自然の観察をする。
- ・観察する中で子ども達から出た疑問を共有し、保育室にある図鑑や絵本を用いて調べてみる。
- ・葉っぱを集めて色や形毎の種類に分類し、違いを見つける。
- ・写真に残しておき後日一覧にしてまとめる事で四季の変化がわかるようにする。また、その時々の子ども達の気づきや言葉を記録しておく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・木々や自然、環境の変化に対する気づき、保育者に伝える。
- ・葉っぱの色や形、感触の違いに気づき、葉っぱ集めや分類へと発展する。
- ・チャイルドブックや絵本を日頃から保育室で読む時間を作り、公園での気づきと繋がりのある内容があると保育者に伝えていた。
- ・公園では落ち葉を切り抜いて顔を作る遊びが流行し、それぞれが作った顔を友達や保育者と見せ合っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・普段何気なく目に見えている木々や自然の変化について、子ども達が興味を持てるような言葉掛けや活動の工夫を少しだけ行う事で、子ども達から様々な気づきや疑問、探求心が出てきた。そこから自分達で発想を広げて保育者が予想していなかった気づきや遊びも出てきた。今後も日常の中にたくさんある子ども達の気づきや発見、疑問を大切にしていきたいと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1172
施設名	アウル宮前保育園
施設所在地	杉並区宮前2-11-11
法人名	社会福祉法人天寿園会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

言語・数字について

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

小学校への就学前に文字や数字に楽しく触れながら興味関心を広げ、就学への期待や意欲を高められるようにする為、設定しました。

2. 活動スケジュール

- ・12月 郵便屋さんごっこ
- ・1月 就学に向けて1月から午睡が無くなり、その時間を活用してワークへの取り組みを開始する。
- ・初めは鉛筆の持ち方や使い方、書き方を練習しながら慣れてきたら線(直線、曲線)を描く事を行い、その後にひらがなの練習を開始。同時に電子ボードを使用しながらわかりやすく説明出来るようにしたり、発表したりしながら、数や数字に関するワークを行う。
- ・2月 ワークで学んだ数について、各自が問題作成に挑戦する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・チャイルドブック
- ・電子ボード
- ・1月～の毎日のワーク時間、取り組み
- ・パソコン
- ・ひらがな表、カタカナ表
- ・鉛筆、消しゴム
- ・自由遊び用白紙

4. 探究活動の実践

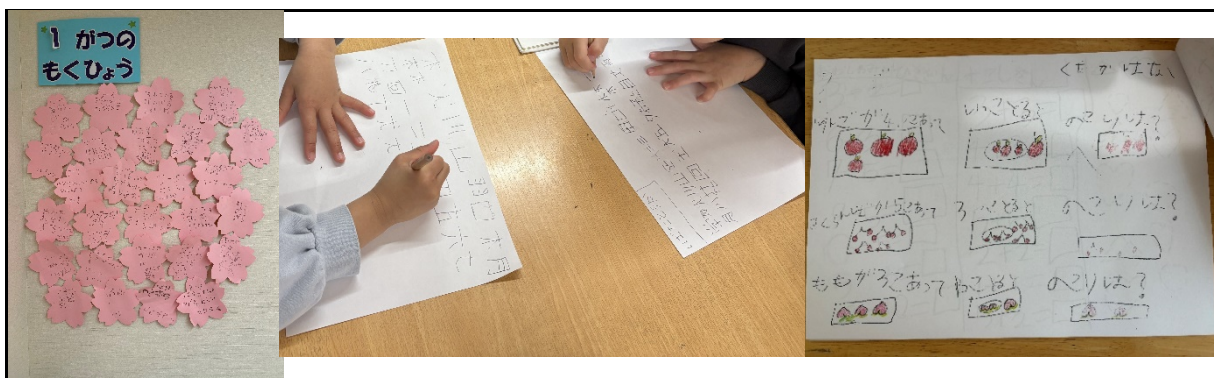
<活動の内容>

- ・ 毎月の目標を書いたり日頃から自由遊びの時間に白紙を準備し、自由に絵や文字への関心を広げる。
- ・ ワークは線の練習から始める事で遊びの延長として楽しく学ぶ。
- ・ 次の段階として文字の練習を行う。
- ・ 数のワークでは数を数えたり数字を書いたりしながら数字への興味を広げ、その後問題作成、問題を解く

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・ 活動で毎月の目標を各自が記入したり自由遊びで白紙に絵や文字を書けるようにしたり、その他郵便屋さんごっこを通して友達や先生とのやりとりを行ったりする中で文字を書く事への興味を高め、楽しく行う姿が見られた。
- ・ ワークは丁寧に行う事を意識しながら行う事で集中力が高まり、時間をかけてじっくり行っていた。
- ・ 問題作成の際には解く人がわかりやすいように考えながら行い、友達に解いてもらう事で達成感を味わっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動や自由遊びの内容について、子ども達が自然と興味をもち取り組めるよう工夫して構成を行った。友達同士で互いに刺激を受けながら文字への興味が広がっていき、数字に関しては毎日の日付け確認やグループの番号など、日常生活の中で触れられるようにした。発展として問題作成に取り組んだが、とても発想が豊かでありそれぞれがイメージしながら楽しく取り組む姿が見られ、良かった。様々な活動や遊びにおいて、友達と関わりながら刺激を受け、興味関心を広げていく様子が印象的だった。